

市政記者各位

令和7年8月18日
市民局男女共同参画部事業推進課
(福岡市男女共同参画推進センター・アミカス)

11/8(土) アミカスフェスタ 2025

「対岸の家事 ～これが、私の生きる道！～」

作家 **朱野 帰子** 氏 トークセッション開催が決定しました!!

家事・育児・仕事を巡るそれぞれの悩みを描くことで多くの共感を呼び、この春ドラマ化もされた小説「対岸の家事」の著者 朱野帰子氏 をお迎えし、トークセッションを開催します。

「わたし、定時で帰ります。」など、数々のベストセラー作品を生み出している朱野さんと、配偶者の米国赴任に伴い渡米し、家事や子育て、キャリアの中断に向き合った経験のある小西一禎さんとの対談を通じて、仕事と家庭、夫婦の役割分担などについて考えます。

つきましては、本イベントの周知および当日の取材についてご協力をお願いします。

※このトークセッションは、「みんなで参画ウィーク」(福岡市男女共同参画週間、11月3日～9日)に合わせて男女共同参画推進センター・アミカスで開催する「アミカスフェスタ2025」のメインイベントとなります。

■ 日 時 : 令和7年11月8日(土) 14:00～15:30

■ 場 所 : 福岡市男女共同参画推進センター・アミカス
4階ホール
(南区高宮3丁目3-1)

■ トークセッション(無料、申込先着順 300人)

対岸の家事～これが、私の生きる道！～

朱野帰子(あけの かえるこ)氏

小説家。主な著書に、東京駅で働く人々を題材にした「駅物語」(講談社文庫)や、ドラマ化されて話題になった「わたし、定時で帰ります」(新潮文庫)など。2025年4月よりドラマ化された「対岸の家事」(講談社文庫)では、仕事や家事、子育ての両立に奮闘する人々を描き、多くの共感を呼んだ。2児の母。



モデレーター : 小西一禎(こにし かずよし)氏

千葉科学大学危機管理部教授/ジャーナリスト/さいたま市男女共同参画推進協議会委員/元米国在住駐夫(ちゅうおっと)。共同通信社に入社し、2017年、配偶者の米国赴任に伴い、会社の休職制度を男性で初活用。2児とともに渡米。「世界に広がる駐夫・主夫友の会」(メンバー210人)代表。著書に「妻に稼がれる夫のジレンマ～共働き夫婦の性別役割意識をめぐって」(ちくま新書)など。

■ 申 込 : 10/1よりアミカスホームページより受付開始

※「アミカスフェスタ」のその他の催し等の詳細は、後日お知らせいたします。

【問い合わせ先】

市民局男女共同参画部事業推進課
(福岡市男女共同参画推進センター・アミカス)
担当: 大倉野・吉武 TEL: 092-526-3755